
俺と僕と君と

漣叶夢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺と僕と君と

【Nコード】

N8778X

【作者名】

漣叶夢

【あらすじ】

双子の兄、恭介との永遠の別れを受け入れられなかった凌介は…
？

絶望 by 凌介（前書き）

《登場人物》

根井 凌介 - ネイ リヨウスケ -

証鋼中学1年 男子

- ・ 生真面目な性格をしている。
- ・ 足が速く陸上競技に興味がある。
- ・ 小学生の頃からサッカーのクラブチームに所属している。
- ・ 希鶉小学校の卒業後双子の兄、恭介を失い、両親と3人暮らし。

駒鷲 笑 - コマサギ エミ -

証鋼中学1年 女子

- ・ イタリア人の母と日本人の父との間に生まれた。
- ・ 凌介と同じクラス
- ・ 凌介の家の隣に越して来た。兄、清一郎と二人暮らし。

恭介

凌介の兄

- ・ サッカーが大好きだった。

絶望 by 凌介

「がっこ……」

目が覚め、身体を起こす。時計を見ると長針は12、短針は6を指している。何だ、まだ6時か……。うっかりなのか何なのか分からな
いが、目が覚めてしまったのだから何かしようとする人がいなくなった
二段ベットの階段を下り、僕はジャージに着替える。いつもより早
いが、走ってこよう。僕は部屋を出た。

今日から中学生だ。清々しい気持ちでいつものランニングコースを
走る。部活は：絶対に陸上部だな！何て考えながら走っているが僕、
根井凌介の心情は悲しみと悔しさで一杯だ。それは2週間前のこと、
最愛の兄を失ったのだ。

いつもみたいにサッカークラブに向って歩いていたら僕は恭介と違
い鈍臭かった。いつもぼーっとしたガキだった。青い光を放つ信号
を視野に入れながら横断歩道も半分あるかないかぐらいに差し掛か
った時だった。大きなクラクションに驚き、腰を抜かす僕。目の前
にはトラック。吹っ飛ばされると、頭を抱え込んだ。僕は何か凄く
強い力で引つ張られた。掛けていた眼鏡が取れる。ガードレールに
打ち付けられ、足元を見ると前方からおぞましい量の血が流れてく
る。顔をあげ、立ち上がる。道路には無数の人とその中心に小さな
少年が倒れていた。父さんに似た褐色の髪が血に濡れ、赤さを増し
ていた。血が飛沫をあげるほどに駆けていき赤髪の少年の顔を見る
恭介だった。紛れもない、弱い僕をいつも守ってくれた、最愛の兄
だ。その時は何故恭介が眠っているか、分からなかった。僕の中の
何かが千切れた。次の日、恭介は死んだ。

その後2キロほど走った僕はサッカーボールを見つけた。頭に恭介の顔が浮かぶ。目が眩んで、意識が途切れた。

出会い by 恭介

ここはどこだ？辺りを見回すと、凌介とよく来る公園のベンチに寝てた。何で俺こんなところにいるんだ？

思い出せない…。眩しかったはずの視界に誰かの顔と、なげえ髪が入ってきた。

「大丈夫ですか？」

女だ。可愛い顔だなあ。スタイル良いし。大丈夫だと返し、起き上がろうとするも身体がうまく動かない。よろけて、倒れる。彼女が心配して焦る。目が合うと彼女も俺も苦笑いをした。しかし……この制服、確か同じ中学だったはずだ。先輩だろうか。

「あの…証鋼中学の方ですか？」

俺が尋ねると、彼女は髪を綺麗に1つに束ねながら答えた。

「はい。今日から中学生です！あなたは？」にこやかにかえされ、耳が暑くなるのが分かった。

「お、俺もっ！俺、根井恭介ってんだ。よろしく！」

「私は黒鷲笑。よろしくね。」

そう言っただけは別れた。可愛かったなあと考えながら歩いていると、目の前に信号があった。頭がぐらっと揺れて、瞼を下ろした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8778x/>

俺と僕と君と

2011年11月8日04時10分発行